



2024年10月15日発行

2024年秋号

<第63号>

編集・発行／社会福祉法人ワークスユニオン 代表／池田直樹 〒551-0001 大阪市大正区三軒家西1丁目17-18 TEL06(6556)0881

UNION RUSH

クラブ活動

UNION☆STARS

仕事とグランド

僕が短期利用を始めたのは2017年頃からきました。その頃から仕事の折り合いが中々つかず、時々しか来ることできませんが今は月一回来れています。

西長堀から野田阪神の本屋に行くことが楽しみで本を買ってきます。良いひとり体験ができる今はグランドに来て楽しいです。

お弁当屋さんで働いていた頃はエプロンを自分で洗っていたので大変でした。その仕事は足を痛めたことで辞めて、今は食堂の洗い場で働いています。

休みの日はヘルパーさんと好きな映画やイベントに行ったり買い物に行つたりしています。毎日楽しく過ごせたらよいなと思っています。

野中
克修

日中支援の今とこれから

ワークスユニオンの日中支援事業所は、集団でのストレスをなるべく抑えられるよう小集団での活動を目指し、どの事業所も定員を20名で運営しています。

年齢や特性の事などを考え、「和」と「匠」を就労継続支援B型事業から生活介護事業に移行し、約12年が経過しました。

「和」と「匠」は利用者さん

の年齢層や特性は違いますが、どちらも働くことを支援の柱にしながら、運動プログラムや創作活動、外出など楽しみの要素を加えた日課の提供を取り入れています。ダンス活動や、創作活動には講師を招き定期的に活動を行っています。

職員も定期的に創作活動や習字の活動なども提供し、日々利用者さんが楽しく過ごせるよう取り組んでいます。「匠」では社会福祉協議会に畑を借りて畑活動として野菜の栽培も行っています。

生活介護事業所の今後については、取り組んでいる色々な活動の内容を深めていこうと考えています。特に創作活動に力を入れて、利用者さんが今よりも楽しんで活動に参加でき、利用者さんの表現の場を広げられるよう取り組んでいきます。

就労継続支援B型事業所

「ワークス集」と「ワークス翔」は、1日を通して仕事をメインに行なっています。

「ワークス集」は長年取引

業者や受託内容はほとんど変わらず、コロナ禍では仕事量が減少することもありますが、現在では安定し

て野菜の栽培も行っています。

て仕事が入ってきています。企業内で仕事を行つていきましたが、今年度からは、

りましたが、今年度からは、以後の事業展開を考え軽作業現場「ワークス歩」は、企業内という緊張感を持ち、日々やりとりしながらハンガードのウレタンかけます。他の業者とも取引き

で軽作業を行うチームもありました。今後は、企業内での仕事を行つていて、清掃業務のみを行うことになりました。

就労継続支援B型事業所の今後の展開としては、建物の環境面や利用者さんの体力面、年齢などから通所が負担になつてきている人が増えてきた事業所を徐々に生活介護サービスへ移行し、利用者さんが今よりも過ごしやすい環境や支援を提供していくよう検討しています。

「ワークスユニオン」の利用者さんは、年齢を重ねても仕事に対しての気持ちが強く、仕事を軸にすることでも安定して過ごせる人が多いです。生活介護事業所を利用している最高齢の利用者は、現在75歳で、仕事だけで1日を過ごすことは難しいですが、少しでも仕事をしたいという気持ちを尊重して、作業と色々な活動を行いながら日々過ごしています。

「ワークス翔」は清掃業務を主に行なっています。

マンションの日常清掃や居室の状況に応じて利用者さんの体調を考えながら取り組んでいます。また、昨年度までは、皆さん今の事業所でもなんとか過ごせていたが増えてきていました。現在は、皆さん今の事業所でもなんとか過ごせていますが、「ワークス集」では

階段の上り下りが少しづつ負担になつてきています。「ワークス翔」では清掃中の夏の暑さや冬の寒さなど、清掃業務のみを行うことで負担になつてきている状態です。

「ワークス集」の施設外就労現場「ワークス歩」は、企業内という緊張感を持ち、日々やりとりしながらハンガードのウレタンかけます。他の業者とも取引きで軽作業を行うことになりました。就労継続支援B型事業所の今後の展開としては、建物の環境面や利用者さんの体力面、年齢などから通所が負担になつてきています。利用者さんは、年齢を重ねても仕事に対しての気持ちが強く、仕事を軸にすることでも安定して過ごせる人が多いです。生活介護事業所を利用している最高齢の利用者は、現在75歳で、仕事だけで1日を過ごすことは難しいですが、少しでも仕事をしたいという気持ちを尊重して、作業と色々な活動を行いながら日々過ごしています。

「ワークス翔」は清掃業務を主に行なっています。マンションの日常清掃や居室の状況に応じて利用者さんの体調を考えながら取り組んでいます。また、昨年度までは、皆さん今の事業所でもなんとか過ごせていたが増えてきていました。現在は、皆さん今の事業所でもなんとか過ごせていますが、「ワークス集」では

階段の上り下りが少しづつ負担になつてきています。「ワークス翔」では清掃中の夏の暑さや冬の寒さなど、清掃業務のみを行うことで負担になつてきている状態です。

「ワークス集」の施設外就労現場「ワークス歩」は、企業内という緊張感を持ち、日々やりとりしながらハンガードのウレタンかけます。他の業者とも取引きで軽作業を行うことになりました。就労継続支援B型事業所の今後の展開としては、建物の環境面や利用者さんの体力面、年齢などから通所が負担になつてきています。利用者さんは、年齢を重ねても仕事に対しての気持ちが強く、仕事を軸にすることでも安定して過ごせる人が多いです。生活介護事業所を利用している最高齢の利用者は、現在75歳で、仕事だけで1日を過ごすことは難しいですが、少しでも仕事をしたいという気持ちを尊重して、作業と色々な活動を行いながら日々過ごしています。

これからも、年を重ねた利用者さんがやりたいことができて、安心して楽しく過ごせる環境と支援の提供を目指していきたいと考えています。

(横田)

クラブ活動の醍醐味

機関紙第25号で『打ち込めるものを見出してほしい』とのタイトルで、ワーカーズ

ユニオンのクラブ活動（ダンス・ふうせんバレー）のはじまりを紹介して、早15年が過ぎようとしています。

練習や発表会・大会への参加を重ねて、利用者さんの意識が変わってきたように感じます。当時は余暇活動の一環や、「楽しそう」という気持ちで参加されていました。

今年度の「匠」旅行は、8月22日（木）、23日（金）に兵庫県の城崎温泉へ一泊二日で行きました。

『夢花火旅行』

ライトが照らされた舞台に立ち、緊張以上に楽しさを感じることができた瞬間や、大会で練習の成果を充分に發揮して優勝した喜び、悪戦苦闘して負けた時の悔しさ…。幾度もの挫折を乗り越えることができず、活動を辞める決断をした利用者さんもいますが、どれも継続して取り組んだからこそ得られたものと考えます。

普段とは違った表情も知ることができます。利用者さんと支援者という関係を超えて、「一緒に楽しむこと」、「同じ目標に向かって切磋

習し、全員で一つの目標に向かう、一致団結した姿勢をとても強く感じます。

『打ち込めるものを見つける』という始まりから、年を重ねるとともに深化しているクラブ活動。利用者さんも支援者も、興味のある方は、まずは見学してみてください。

（高橋）

モチーフにした作品作りをした為、旅行への気分が高まつていました。

恒例の宴会を楽しんだ後に、大きな窓から眺める事ができる1階フロアにみんなで座って暫く待機しました。予定時間になりいよいよ河川敷より花火が打ち上

琢磨しあい、積み上げていることなど経験できることがクラブ活動を支援する醍醐味だと感じます。

由は、利用者会議のアンケートで「大きな花火をみたい・温泉に入りたい」の得票数が多く決まりました。夏に行くことになった理由は、利用者会議のアンケートで「大きい花火が上がるたびに歓声が上がっていました。がると、みなさん見入り「ピューネードーナーン」とどもみられへん」「綺麗かつたなあ」「また、来年も夏の花火がいい」等の声が聞こえてきました。

城崎の夜に咲いた花に酔いしれた「匠」旅行となりました。（島村）

舞洲工場見学に
行つてきました

6月7日（金）に、「和」の野外活動がありました。今年は、あの斬新で個性的な建物で有名なゴミ焼却施設、舞洲工場へ見学に行つてきました。

分かりやすく説明してくれます。そんな係の人たちの陰で、他の皆さんも最後まで楽しめたようです。

舞洲の盆踊り大会！

この工場見学では迫力満点の作業の様子を間近で見られます。特にゴミを直径6mの大きなクレーンで持ち上げ、別のピットに移す作業では、ゴミを落とす時の音がすさまじく、思わず皆さんも、「すごいい」と声を上げていました。

今回の野外活動では、今まで仕事以外の活動（創作や食事会など）には消極的であつた利用者さんが、初めて行事に参加してくれたという大変嬉しいことがありました。その利用者さんは、工場見学中、説明を聞きながら熱心にメモを取つていて興味津々の様子でした。

舞洲工場では、見学に来た人に興味を持つてもらえたように、係の人があつても

今年も8月2日に三軒家西小学校にて、盆踊り大会が開催されました。グループホームの利用者さんが総勢、12名参加。職員と一緒に小学校の運動場にて盆踊りを楽しんできました。

この盆踊り大会は毎年恒例となっているそうで、今回もこの三軒家西地区に住む、子供からお年寄りの方々が参加し、焼き鳥や、ミニクッキンベイ、スーパーボールすべり、型抜きなどの模擬店もある、大変にぎやかな盆踊り大会でした。

最初は、「踊られへんわ！」
「ただ盆踊り見たいだけ」など利用者さんは話していました。それでも参加してみると、やぐらの前にかかると、やぐらの方々に交じり、見よう見ぬで踊つたり、それぞれと隊列をなし、近所の住民の方々に歩したり、絵描いてんと笑う利用者さん。皆にとつて、毎日通いたいと思えるような場所を作つていけたらと思う。

編集後記